

なんだ・かんだ

◆ facebook ◆

冒頭に書いたチュニジア・エジプト・リビアの政変の発端となつたと言われている、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の1つである、「フェイスブック」なるものに参加してみました。

フェイスブックのサイトで仮登録し、送られてきたメールから再度サイトへログインし、メールアドレス・氏名・学歴・経歴・生年月日・趣味・人生観などなど、そして自分の写真(なくてもOKでちゃんとした写真を掲載しない人も多い。)を登録します。どこまで公開するかはある程度設定できるようですが、名前・写真・性別・ネットワークは誰からも見られてしまいます。

登録すると、入力した項目(学歴・経歴など)から「知り合いかもしれない人」の写真と名前がパソコンの画面上で見ることができます。その数は膨大です。そうこうするうちに数人から、「友達になりたい」旨の通知が届き、それを自分で承認するとその人と「友達になる」ことができます。登録してからあつという間に数人からオファーがありました。また、表示された写真の中からも、名前下の「友達になる」をクリックすると、その友達へ私が友達になりたい旨のメールが飛び、承認されると「友達」になることができます。すると、その友達の登録してある友達も画面上に出てきて、次から次に友達の輪を広げることができるようになるわけです。友達は「グループ分け」する事が出来るので、流す情報を選別・コントロールすることができます。

そして、画面には、「〇〇さんが××さんの発言について「いいね!」と言っています。など、友達や自分のやりとりの情報がたくさん表示されます。そこにコメントをつけたりすることで、その場より大きなコミュニケーションに発展したりします。(友達がひとりもいない状態だと画面に何も表示されません。)

なんせ始めたばかりで、若葉マーク付きの状態で見えないことだらけですが、プライベートにビジネスにと、少しずつ進めていこうと思っています。特にビジネスについてはどのように展開していけばよいのか分かりませんが、計り知れない可能性があるように思います。なにしろ、大手企業が運営するSNSで登録者数では、フェイスブックはツイッターよりもひとケタ多く、ユーザーの滞在時間においては、グループを超えてしまっています。早速「facebook」をビジネスに使う本」と言う本を買ってきて読みました。

でもちょっと危惧していることがあります。インターネットの世界の動きが早い事です。「ホームページ」を持つことから始めて、「ブログ」「ツイッター」「フェイスブック」と少しわかったと思ったらすぐに次に流れが移ってしまうことです。この流れに追いつけません。



二月は大変寒暖の差が激しい月でした。立春を過ぎ一時暖かくなりましたが、10日過ぎに急に冷え込み関東でも雪が積もりました。しかし20日過ぎには、各地で梅の便りも聞かれ、伊豆では河津桜も見頃を迎え、恐怖の花粉が大飛散を始めました。何とその量は昨年10倍といわれています。そんな陽気の中、九州宮崎では「新燃岳」の噴火、各地で鳥インフルエンザの発生、海外でもニュージーランドで大地震が起き、邦人を含めて多くの犠牲者を出しています。そして、政治的にはチュニジア・エジプト・リビア等で、民衆の蜂起により長期独裁政権に終止符が打たれるという事態が発生しています。まさに激動の時代です。

国内経済においては、年度末に向かい大企業は利益の上方修正をしているようですが、我々中小企業を取り巻く環境は、まだまだ厳しい状態を抜け出すことができません。そんな中、4月に統一地方選挙が行われます。日本の格付けが政治力の弱さを理由に下げられましたが、自社のことを政治のせいにするわけにもいかず、自努力で何とかしなければなりません。なんとか早く温かい春を迎えたいものです。

代表取締役 服部 敏一郎

もつすぐ春なのに・・・

新卒採用活動

昨年12月末から来年2012年4月入社予定の新卒社員採用の募集活動を始めました。

静岡新聞の合同企業ガイダンスと「仕事のかんづめ」というインターネットの就職サイトから当社の会社説明会へエントリーしてもらいます。そして会社説明会で面接等の選考への参加を募り、第1次選考:グループ面接 → 第2次選考:適性検査 → 第3次選考:社長面接という順序で進みます。そして、このサイクルを2回繰り返して内定を出すのですが、現在は予定した説明会は終了し、1度目の第3次選考:社長面接と2度目の第1次選考:グループ面接を終了したところです。

どうやら当社の動きは少し早いようで、面接に来る学生さんもまだ他社での選考も進んでいないようで、内定を出した時の本人の意思確認(絶対に当社に入社してくれるかどうか)が取れません。学生さんは内定辞退ができますが、企業側は取り消しをすることができません。従って出来れば絶対にきてくれるという確約がほしい訳です。しかしこれが難しいのです。

今年の学生さんはレベルも高く、大変就職に対して真面目で前向きな方が多くいるように感じます。「企業は人なり。」何とか優秀な学生さんを探りたいと思っています。



■ 消火器についての法律変更 ■

消火器は、住宅用と業務用とに分かれます。(消火器ラベルに表示されます)業務用消火器は飲食店、映画館、病院、事業所など、消火器具の設置を義務づけられた場所に置くことができるもので、外面の25%以上を赤色にするよう決められています。住宅用消火器は、住宅での使用に限り適した構造で、設置義務がある事業所等に置いても消防署からは消火器として認めてもらえません。色の規制が無く、カラフルでコンパクトなものが販売されています。業務用の消火器と違い、薬剤を詰め替えることはできません。消火器購入につきましては、出入りの消防設備屋さんにご相談下さい。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

・ 株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/